

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和元年12月24日
松本地域振興局

提出区分	実績		
整理番号	14	課題区分	B
実施機関	松本保健福祉事務所		担当課
事業名	産科医療提供体制維持確保事業	所属	松本保健福祉事務所
		電話	0263-40-1937
		E-mail	matsuho-somu@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	安心して出産できる産科医療体制の維持を図るとともに、地域で子を産み育てることの安心感を醸成し、出産・子育て環境の一層の向上を図る。	
	現状と課題	松本地域ではH11からH20にかけて、分娩を取り扱う施設が半減(13施設→7施設)し、産科医療体制が崩壊寸前の状況となった。そこで松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会を組織し、健診協力医療機関と分娩医療機関が「共通診療ノート」を活用し連携・役割分担を行う体制を構築した。 本体制への産婦の支持は高い一方で、産婦の3割は本体制を知らない状況にある。また本体制の維持には、地域住民の理解と協力が不可欠であるため、継続的な周知活動が必要である。	
	内容 (変更後の内容)	松本地域における産科医療提供体制の維持を図るために必要な、地域住民の理解と協力を得るための広報活動を実施する。	
	事業期間	令和元年10月 ~ 令和元年12月	
	成果目標 (成果指標)	出生数に対する管内産科医療機関の分娩取扱数の比率 100.0%以上	
事業費等	(単位:円)		
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額
	地域住民への広報活動	講演会の実施	662,980
	合計		662,980
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価
	地域住民への周知のため公開講座を実施 令和元年11月2日(土)アルピコプラザホテル ○テーマ:未来へつなぐ、未来とつながる 地域で支える出産・子育て環境 ○講演会:タレント 松山三四六氏 信州大学医学部保健学科長 金井誠氏 ○参加者:約130名	講演会を通じて、健診協力医療機関と分娩医療機関の連携・役割分担を行う体制について、地域住民の理解を深めることができた。(当日実施したアンケートにおいて90%以上の方が満足・やや満足と回答)	<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	松本地域における産科医療提供体制を維持していくには、地域住民の理解と協力が不可欠なため、引き続き広報活動を実施していく必要がある。		